

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2004-362820(P2004-362820A)

【公開日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2003-156873(P2003-156873)

【国際特許分類第7版】

F 2 1 V 29/00

G 0 2 F 1/13

G 0 3 B 21/00

G 0 3 B 21/14

G 0 3 B 21/16

G 0 9 G 3/20

G 0 9 G 3/34

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 5/74

// F 2 1 Y 101:00

【F I】

F 2 1 V 29/00 A

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 3 B 21/00 E

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/16

G 0 9 G 3/20 6 3 3 L

G 0 9 G 3/20 6 4 2 E

G 0 9 G 3/20 6 4 2 P

G 0 9 G 3/20 6 7 0 E

G 0 9 G 3/20 6 7 0 K

G 0 9 G 3/20 6 7 0 L

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/34 J

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 5/74 Z

F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月9日(2005.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、

上記光源から射出される光の光軸上に設置され、上記光源からの射出光の光量を調節する調光装置と、

上記調光装置を冷却する冷却装置とを備えたことを特徴とする、照明装置。

【請求項 2】

上記冷却装置は上記調光装置の過熱状態に基づいて冷却能力を変化させることを特徴とする、請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 3】

上記光量の調節量により上記調光装置の過熱状態を検出する調光量検出手段を備え、上記冷却装置は、上記光量の調節量に基づいて冷却能力を変化させることを特徴とする、請求項 2 記載の照明装置。

【請求項 4】

上記冷却装置は、上記調節量の累積値に基づいて冷却能力を変化させることを特徴とする、請求項 3 記載の照明装置。

【請求項 5】

上記調光装置は、上記調節量の累積値が所定値を超えた場合に上記射出光の遮光量を最小とすることを特徴とする、請求項 4 記載の照明装置。

【請求項 6】

上記調光装置又は調光装置近傍の温度により上記調光装置の過熱状態を検出する温度検出手段を備え、

上記冷却装置は検出温度に基づいて冷却能力を変化させることを特徴とする、請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 7】

上記調光装置は、上記検出温度が所定温度を超えた場合に上記光量の調節量を最小とすることを特徴とする、請求項 6 記載の照明装置。

【請求項 8】

上記調光装置は、外部から情報が入力されないときに上記光量の調節量を最小とすることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれかの項に記載の照明装置。

【請求項 9】

上記調光装置は、外部から情報が入力されないときに上記光源から射出される光の光路外に配置されることを特徴とする、請求項 8 記載の照明装置。

【請求項 10】

光源と、

上記光源から射出される光の光軸上に設置され、上記光源からの射出光の光量を調節する調光装置と、

上記光量の調節量を検出する調光量検出手段とを備え、

上記調光装置は、上記調節量の累積値が所定値を超えた場合に、上記光量の調節量を最小とすることを特徴とする、照明装置。

【請求項 11】

光源と、

上記光源から射出される光の光軸上に設置され、上記光源からの射出光の光量を調節する調光装置と、

上記調光装置又は調光装置近傍の温度を検出する温度検出手段を備え、

上記調光装置は、上記検出温度が所定温度を超えた場合に上記光量の調節量を最小とすることを特徴とする、照明装置。

【請求項 12】

光源と、

上記光源から射出される光の光軸上に設置され、上記光源からの射出光の光量を調節する調光装置とを備え、

上記調光装置は、外部からの情報に基づいて上記光量の調節量が制御され、外部からの情報がないときには上記射出光の遮光量を最小とすることを特徴とする、照明装置。

【請求項 13】

光源と、

上記光源から射出される光の光軸上に設置され、上記光源からの射出光の光量を調節す

る調光装置とを備え、

上記調光装置は、その主面と平行な方向に延在する回動軸を中心として回動可能に構成された遮光板からなり、上記遮光板が回動により接触可能な位置に受熱部材が設けられたことを特徴とする、照明装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 13 のいずれかの項に記載の照明装置と、

上記照明装置から射出される光を変調して映像光を形成する光変調装置と、

上記映像光を投射する投射手段とを備えたことを特徴とする、投射型表示装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 記載の投射型表示装置の駆動方法であって、

単位時間あたりの映像信号に基づいて上記調光装置を制御する制御信号を決定し、

この制御信号に基づいて上記調光装置を制御することで上記光変調装置を照明する光の光量を調節するとともに、上記映像信号を上記制御信号に基づいて伸長し、

更に、上記制御信号に基づいて上記冷却装置の冷却能力を調節しながら上記調光装置を冷却することを特徴とする、投射型表示装置の駆動方法。